

市内バス路線の再編に伴う牛久市コミュニティバスかっぱ号の運賃に関する パブリックコメント実施結果と回答について

案件名	市内バス路線の再編に伴う牛久市コミュニティバスかっぱ号の運賃について
募集期間	令和 8 年 6 月 3 日（水曜日）～令和 8 年 7 月 2 日（木曜日）
提出資格	・市内に住所を有する者・市内に事務所又は事業所を有する者 ・市内の事務所又は事業所に通勤する者・市内の学校に在学する者
閲覧方法	(1)中央図書館 (2)エスカード出張所 (3)ひたち野リフレプラザ市民窓口 (4)総合福祉センター (5)生涯学習センター（中央・三日月橋・奥野） (6)牛久運動公園 (7)情報公開統合窓口（市役所本庁舎 3 階総務課）(8)市ホームページ
提出方法	窓口、郵送、FAX またはメール
意見を提出された方	1 人
意見提出件数	1 件（運賃に関する意見は、0 件）

※いただきましたご意見につきましては、原則として原文のまま掲載しております。

NO.	意見（原文のまま）	運賃以外の意見に対する市の考え方
1-1	平素より市政運営にご尽力いただき、ありがとうございます。この度、牛久駅東口～小坂団地・牛久浄苑線の廃止について、市民の一人として要望を申し上げたく、ご連絡いたしました。 【現状】 私は毎朝 6 時台の同路線を利用し、通勤しております。しかしながら、コロナ禍以降、帰りの最終便が 22 時→21 時→18 時と段階的に減便され、現在は家族の送迎に頼らざるを得ない状況です。また、子供が小さく、朝の送迎も困難なため、この路線バスが通勤の生命線となっております。 【要望事項】 ・新設される「かっぱ号奥野ルート」において、廃止されるルートの機能を引き継いでいただけるのか、詳細をご教示ください ・朝 6 時台に牛久駅に到着する便の確保についてご検討をお願いいたします。 公共交通機関の維持には様々なご事情があることは理解しておりますが、通勤・通学の足として利用している住民にとって、この路線は不可欠なものです。何卒、住民の生活実態を踏まえた交通政策をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。	運賃以外のご意見につきましては、以下別葉に市の考え方を掲載しています。 貴重なご意見ありがとうございました。

【別葉】 運賃以外の意見に対する市の考え方

NO.	意見（原文のまま）	運賃以外の意見に対する市の考え方
1-1	平素より市政運営にご尽力いただき、ありがとうございます。この度、牛久駅東口～小坂団地・牛久浄苑線の廃止について、市民の一人として要望を申し上げたく、ご連絡いたしました。 【現状】 私は毎朝 6 時台の同路線を利用し、通勤しております。しかしながら、コロナ禍以降、帰りの最終便が 22 時→21 時→18 時と段階的に減便され、現在は家族の送迎に頼らざるを得ない状況です。また、子供が小さく、朝の送迎も困難なため、この路線バスが通勤の生命線となっております。 【要望事項】 ・新設される「かっぱ号奥野ルート」において、廃止されるルートの機能を引き継いでいただけるのか、詳細をご教示ください ・朝 6 時台に牛久駅に到着する便の確保についてご検討をお願いいたします。 公共交通機関の維持には様々なご事情があることは理解しておりますが、通勤・通学の足として利用している住民にとって、この路線は不可欠なものです。何卒、住民の生活実態を踏まえた交通政策をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。	新設する予定の「かっぱ号奥野ルート」は、利用状況等から関鉄路線バス（牛久駅東口～小坂団地・牛久浄苑（平日）の廃止を受け、市街地と東部地域を結ぶ公共交通軸を担い、奥野地区方面からの移動手段を確保するため、牛久駅と奥野生涯学習センターを結ぶ新たなルートとなります。 経由する停留所も含めた具体的なダイヤは、未確定ですが、主な停留所における始発便のおおむねの運行時間帯につきましては、奥野生涯学習センター発（6:55）→小坂団地→牛久駅東口着（7:35）となり、同じく終発便の運行時間帯につきましては、牛久駅東口発（17:55）→小坂団地→奥野生涯学習センタ（18:35）の予定であるため、現行の路線バスと比較しますと運行時間帯は朝、夕ともに縮小することとなります。 運行時間帯に関しましては、朝、夕ともに拡大できないか運行事業者と協議いたしましたが、かっぱ号の全体への運行の影響と慢性的な運転士不足に加え、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」（改善基準告示）の改正により、バス運転士等の拘束時間の上限や休息時間の基準が見直しされたことに伴い、かっぱ号もその影響を大きく受け、始発・終発におけるこれ以上の運行時間の拡大は困難であり、大変ご不便をおかけいたします。令和 8 年 10 月 1 日に、お示しした内容によるダイヤ改正等の実施となりますが、いただきましたご意見を参考とし、バス事業のみならず、引き続き、通勤・通学者等の移動における利便性が向上するような施策を検討してまいります。